
憎しみの目

まるねこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

憎しみの目

【Nコード】

N2969W

【作者名】

まるねこ

【あらすじ】

出会いから離婚までの苦痛を書いたものです。

暴力の描写は、書きませんが苦手な方はご注意下さい。

この話は、ノンフィクションです。

私と貴方が出会ったのは、高校生の時…

あの頃の貴方は、優しく暖かくて少しでも離れてしまうと寂しくて恋しくて

付き合うことになった時は、幸せでいつまでもこの幸せが続いて欲しいと思った

でも幸せは続かなかった…結婚して貴方は、変わってしまった…

優しくったあの頃とは違い貴方は私に恐怖と暴力で服従させ私を壊した

私の心は、暗く誰かに救いを求めたくても出来なかった

愛のない夜の営みで貴方の子供を授かった。

私は、嬉しかった愛している貴方の子供を授かることが出来てもしかしたら優しくったあの頃に貴方が戻ってくれるのではないかと

でも貴方は、喜ぶ事もなく「子供など要らない。お前の血が混ざった子供など可愛くない。」

私は、ショックで涙を流し貴方は、罵声を発しながら私のお腹を蹴り続けた

「これで流れるだろう。金が勿体ないからな。」

私は、産婦人科に駆け込み祈った…

望みは叶わず大切な私の赤ちゃんは、居なくなってしまうた…

私の全てを奪った貴方を怨み憎しみ離婚を決意した。

私は、親の元に逃げ離婚の準備を始めた。どうせ貴方は、世間体を気にして離婚を認めてくれないだろうから。

貴方が不利になる証拠はたくさんあったので離婚は、簡単だった。

私が最後に投げ掛けた言葉は、「これで貴方と会うことはないですよ。私の全てを大切なものを奪った貴方が殺してやりたいぐらい憎い。」

貴方は、驚いた顔で啞然としてたね…何せ初めて貴方に反抗したのだから。

離婚から三年たち心と体の傷は無くなっただけれど今でも憎しみは変わりません。

私は、貴方に幸がないことを心より祈っております。

(後書き)

憎しみの目を読んでいただきありがとうございます(* ^ ^ *)
ダ
ークな話をしてしまってごめんなさい。今私は、心の傷も癒えてい
ます。憎しみは変わりませんが(^ | ^ ;)
もし次の小説を書くならば笑える話にしたいです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2969w/>

憎しみの目

2011年10月9日16時14分発行